

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スノーボード実習 B	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	テニスコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	特になし				
担当教員情報					
担当教員	志鷹慎吾		実務経験の有無・職種	有・スノーボードインストラクター	
学習目的					
冬の代表的なスノースポーツの一つであるスノーボード実習を行なう経験から基礎的技術や指導方法・安全対策などを身に付け、そして冬山における自然環境の厳しさ、マナーや事故防止についての知識や行動を実際の体験から習得する事を目的とします。					
到達目標					
各個人の技量にあった技術レベルで、自ら危険を判断して回避できる能力を身に付けます。冬山におけるマナーなど実際に体験をし、雪質を含む斜面状況や気象変化、他のスキーヤー、スノーボーダーの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中でスノースポーツの安全な楽しみ方を学ぶ事を目標とします。					
授業概要	レベルが同一のグループに分かれて実習授業を実施し、バッジテスト 1～5 級の取得を目指します 技能レベルの取得のみならず、自然との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます				
注意点	授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は評価することができません 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対にとらないようにして下さい スノーボード滑走中は必ずヘルメット、ゴーグル等を着用して下さい 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	最終日に実施する実技試験において評価		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 （口頭・実技）	50%	実習中に行われる課題によって評価		
	平常点	%			
授業計画（ 1 回～ 1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	オリエンテーション		スノーボードについての注意事項、実習行程を理解します		
2 回	雪山事故について		雪山で起こりうる、事故やケガなどを理解します		
3 回	スノーボード用具について		用具の取り扱い、装着方法を理解します		
4 回	ストレートストップ		バック・フロントサイドにおいて斜面に垂直で安定したポジションが取れ、スムーズなテール動作からの停止をすることができます		
5 回	ベンジュラム		スムーズなウェイトシフトをすることができます		
6 回	ストレートストローク		上下動の中であっても、スノーボードに対して垂直なポジションをとることができます		
7 回	連続ターン		連続ターンをしながら指定されたエリアで確実な停止をすることができます		
8 回	ショートターン		リズムよくテールを動かすことによってターンをコントロールすることができます		
9 回	ストレートホップ		滑走面全体での安定した着地をすることができます		
1 0 回	カービングターン		ホールド状態を維持することができます		
1 1 回	グライディング（ショート・ミドル）		センターポジションをターン後半まで意識し、谷回りから後半までスライドによるターンコントロールすることができます		
1 2 回	フォワード&バックワード		バックワード時にスノーボードが極力フォールラインに沿った滑りをすることができます		
1 3 回	グライディングショート		ターン前半部でのホールドからターン中盤からのスライド操作をすることができます		
1 4 回	グライディングミドル		谷回りでのスライド、山周りでのホールド操作によるターンをすることができます		
1 5 回	バッジテスト		自身のレベルに合った級を受けることによって、現在の技術レベルでできる		